



佐賀市上下水道局

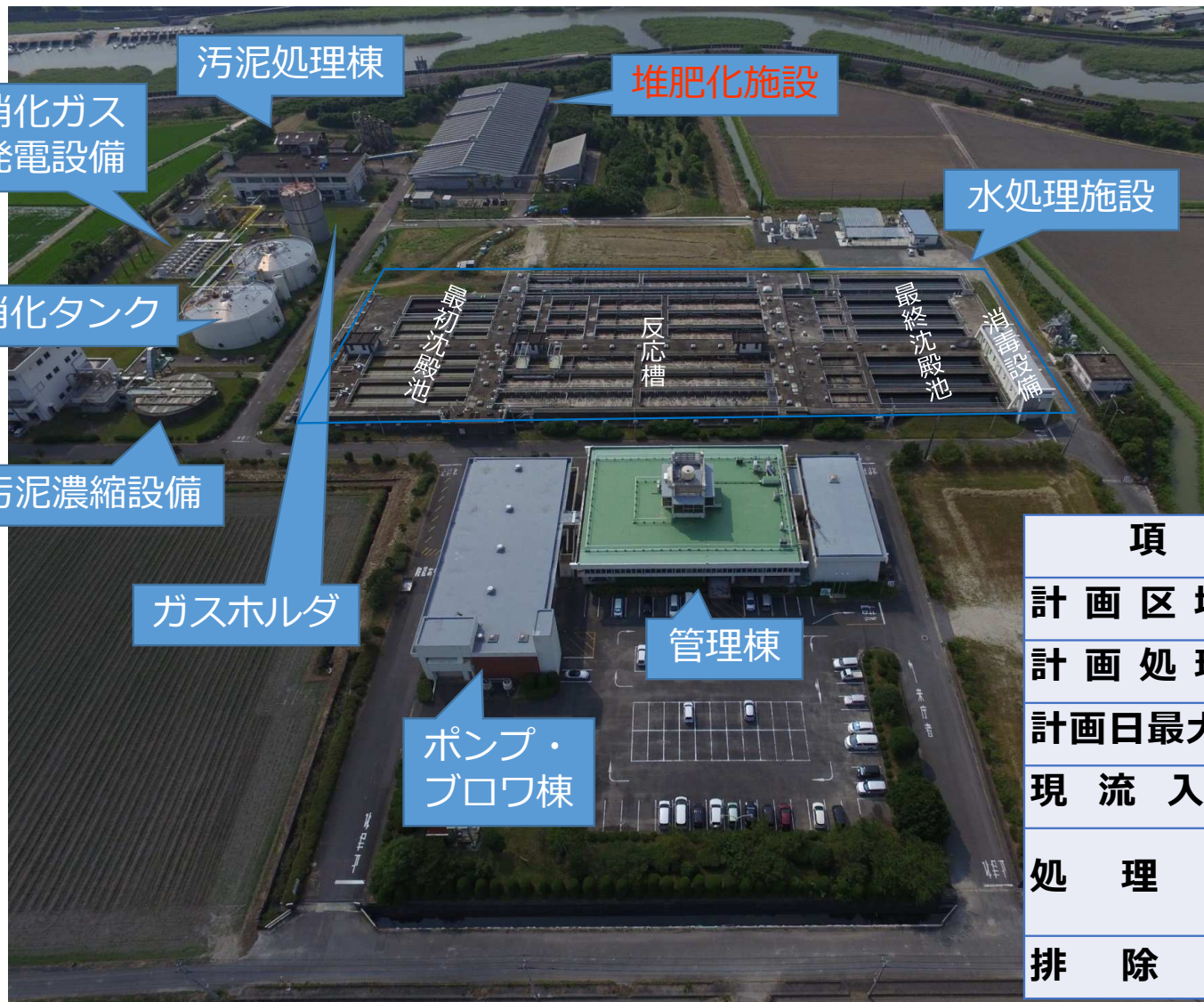
昔に帰る未来型

～佐賀市下水浄化センターを「宝を生む施設」に～

佐賀市上下水道局
下水プロジェクト推進部



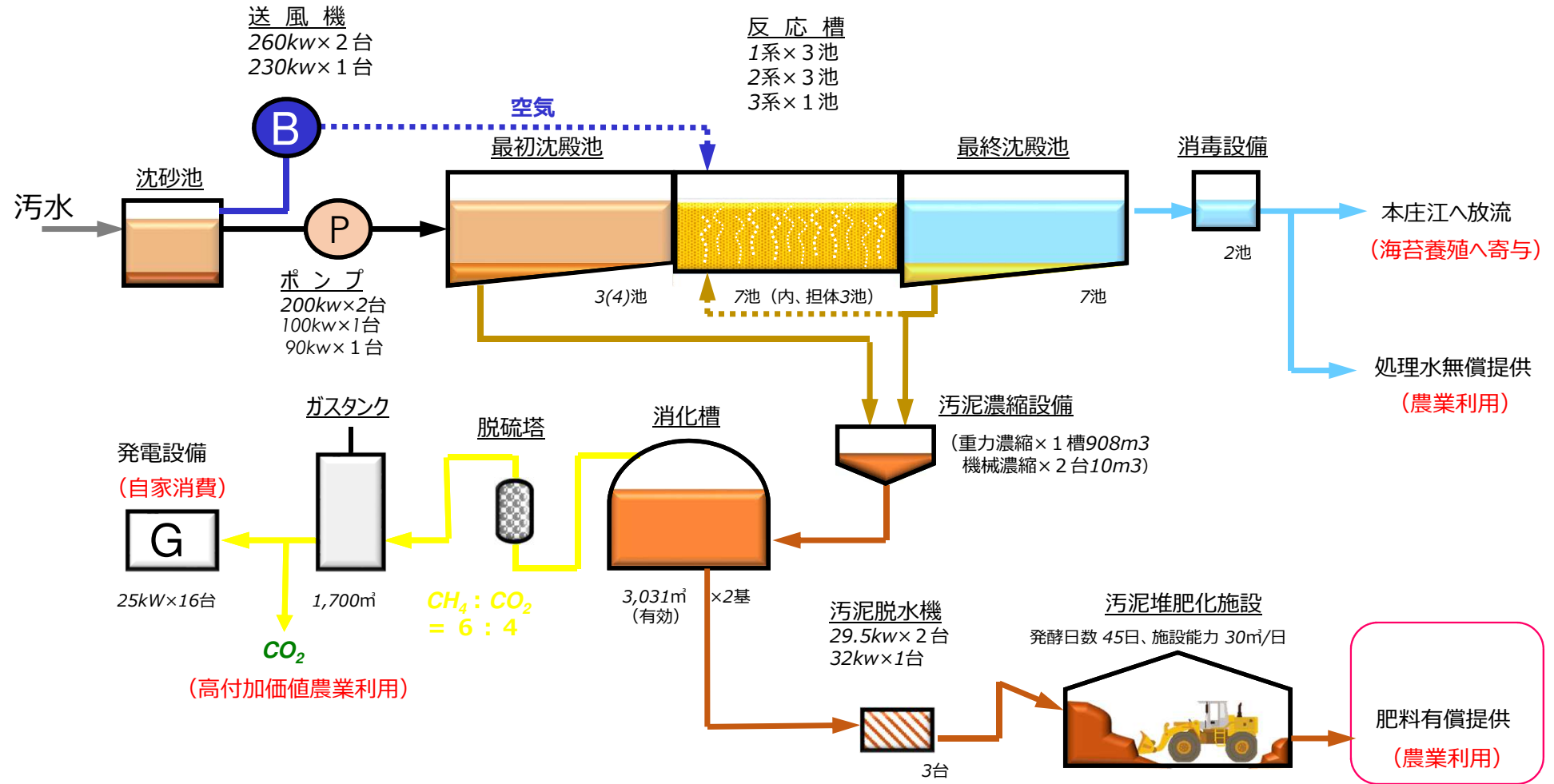
佐賀市下水浄化センターの概要



項目	内容
計画区域面積	4,529.2 ha
計画処理人口	187,400 人
計画日最大汚水量	67,000 m ³ /日
現流入水量	55,600 m ³ /日
処理方式	標準活性汚泥法 (3,4,5,6池) 担体投入活性汚泥法 (1,2,7池)
排除方式	分流式

下水処理と汚泥処理の流れ

汚水は土砂やゴミ、浮遊物を取り除いた後、微生物の働きにより浄化（活性汚泥法）



取り組み ～下水汚泥の堆肥化～

平成21年10月から下水汚泥の堆肥化を実施（平成23年度から有料販売）

堆肥化施設



肥料製造（100℃近くの超高温発酵）



熟成

下水汚泥の焼却処分によるCO₂排出量は年間**1,184t**

堆肥化施設で下水汚泥を**全量堆肥化**

樹齢50年の杉**85,100本**が吸収するCO₂量を削減！

低炭素化



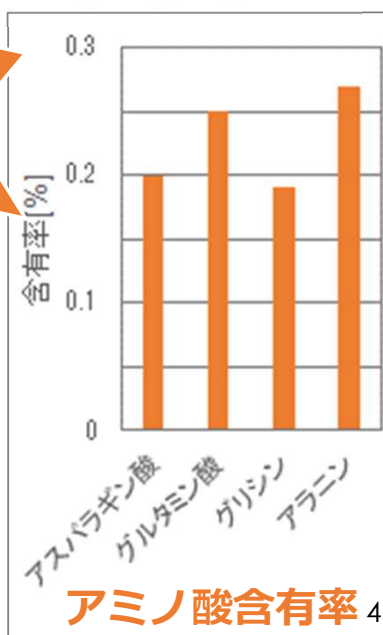
～肥料名～
かんとりー
スーパー佐賀



うまみ成分の
アミノ酸豊富

重金属の公定
規格をクリア

10kg20円
で販売



取り組み ～下水汚泥の堆肥化～

1キロ=2円
フレコン350キロ=800円
フレコン800キロ=1,600円

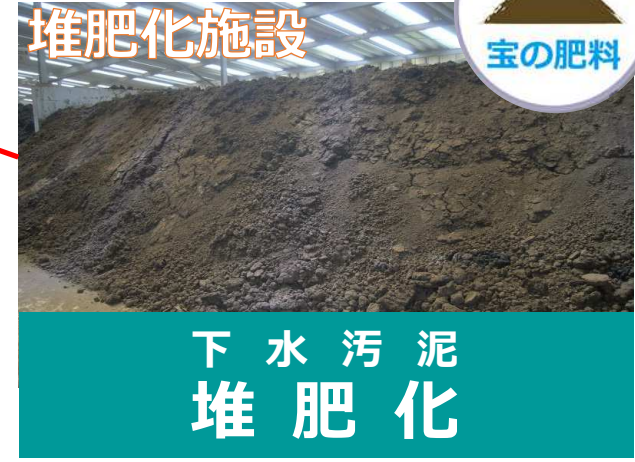
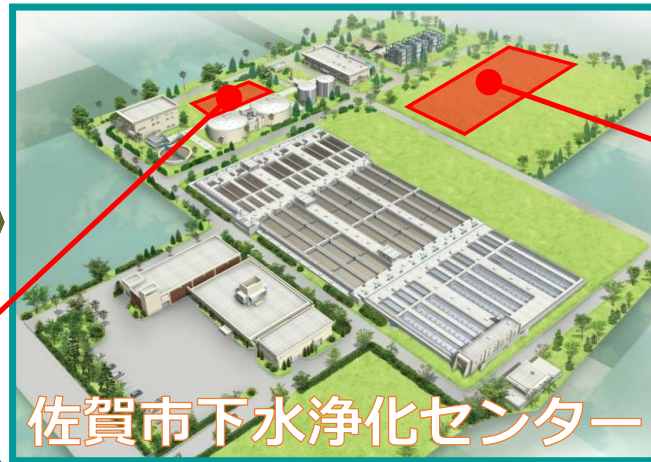
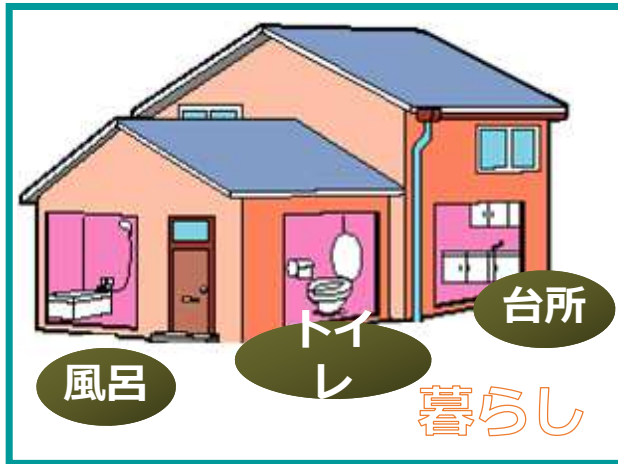
フレコンは事前予約が必要です。



S&Kサガ
(連絡先) 27-3510

「迷惑施設」から環境共存型「歓迎施設」への転換！

現在の佐賀市下水浄化センター



佐賀市下水浄化センターの取組みが SDGsへ貢献する内容

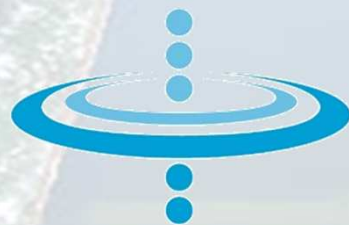


2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

項目	取組み	目標	ターゲット
消化ガス発電	下水汚泥処理で発生するメタンガスを利用した発電	 	7.2 再生可能エネルギーの拡大 13.3 気候変動の緩和
放流水の活用	海苔養殖に配慮した運転 処理水の農業利用	 	6.b 水と衛生に関わる分野の管理向上 14.7 水産養殖の持続可能な管理
汚泥の堆肥化	下水汚泥の堆肥化	 	2.4 持続可能な食料生産システム 12.5 廃棄物の削減、再利用
広報活動	じゅんかん育ちの販売 下水道の魅力を発信		4.4 働きがいのある人間らしい仕事

ようこそ！
「宝を生む施設」
佐賀市下水浄化センターへ

ご清聴ありがとうございました



佐賀市上下水道局

